

鳥博月例手賀沼探鳥会について

我孫子市鳥の博物館では、博物館の目の前に広がる手賀沼も展示室の延長ととらえ、沼という舞台の上で季節ごとに変化する生き物たちをさがす観察会を始めることにしました。

この観察会は、おもに鳥を中心に観察します。もちろん、その途中、目に入る草花、木、昆虫、クモなど、時間の許す限り見つけてゆきたいと思います。

「ちょっとその辺をさんぽ！」といった気軽な自然散策をイメージしてます。

初心者の方は、新たな発見が。ベテランは、それぞれの得意分野の情報提供を互いに行なながら、1時間程度の散策を楽しみましょう。

毎月1回、第2土曜日の10時から正午まで、細く長くこの観察会を続けていこうと思います。

注 楽しい観察会にするため、次のことに気をつけましょう

- ・手賀沼遊歩道や親水広場は、多くの人が利用しています。観察に夢中になりすぎて、通行（特に自転車）のさまたげにならぬよう、互いに声をかけあいましょう。
- ・田んぼや畑は、農家の人たちが大切に管理している場所です。畦（あぜ）をくずしたり、作物を踏みつけない様に注意しましょう。
- ・スズメバチやマムシやウルシなど、危険な生物にはむやみに近づいたり、さわったりしないようにしましょう。

〒270-1145 我孫子市高野山234-3

我孫子市鳥の博物館

電話：04-7185-2212

ファックス：04-7185-0639

URL: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp>

鳥の博物館

手賀沼定例探鳥会 2004

春のさんぽ

(3月、4月、5月)



3月 草木の花、鳥たちの鳴き声を楽しもう

- ・コブシの白い花、土手に咲くオオイヌノフグリ、ホトケノザ。
- ・バンやオオバン、カツブリの追いかけ合い（なわばり争い）。
- キジのドラミング。
- ・枯れたヨシ原の中のオオジュリン。

4月 サクラの花と集まる鳥たちに注目！

- ・サクラの花と集まる鳥（ヒヨドリ、メジロ、スズメ・・・）
- ・どこがちがう？ セグロセキレイ vs. ハクセキレイ
- ・歩き方をくらべよう！ ムクドリ vs. スズメ

5月 田植えが終わった田んぼに見られる生き物は？

- ・ヨシ原で鳴くオオヨシキリ、水面を飛ぶコアジサシ
- ・冬鳥のカモが見られるラストチャンス！！
- ・田んぼの中の生き物たち
- ・くらべよう！ ヨシとマコモとヒメガマ

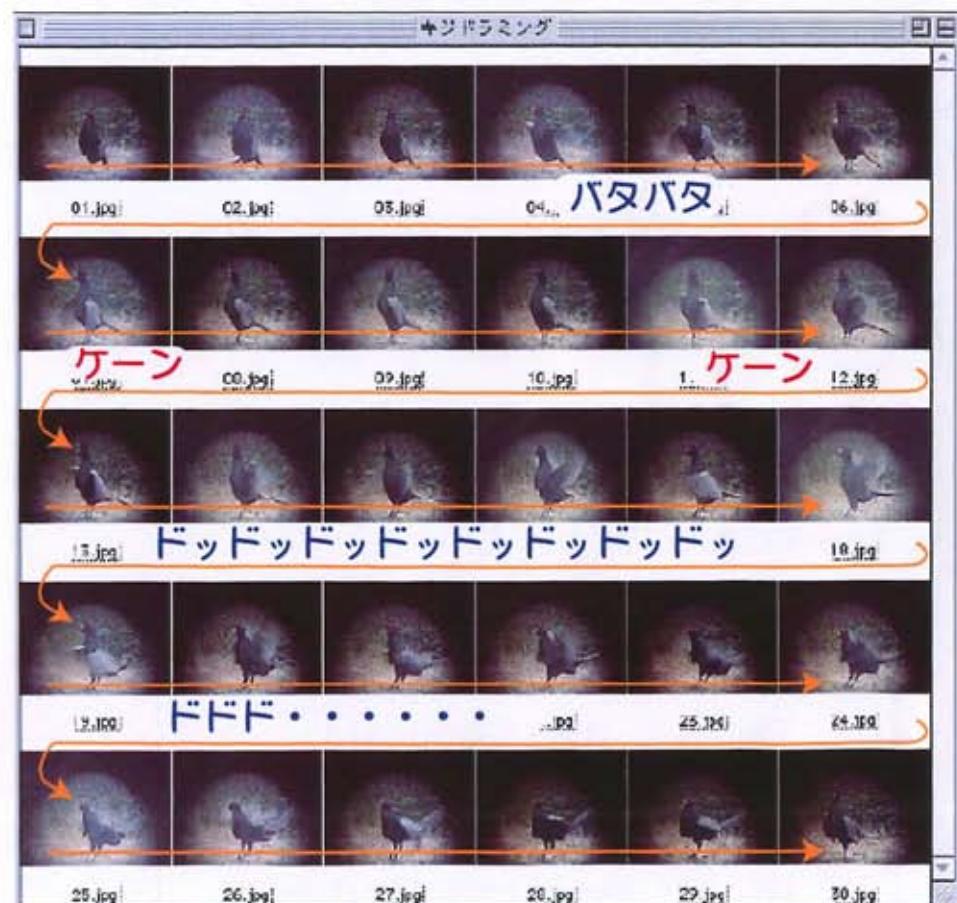
キジのドラミングって何？

春になると、キジのオスは、田んぼや畑の見はらしのよい場所でさかんに鳴きます。

自分のなわばりにメスを迎え入れ、他のオスを追い出すためです。

「ケーン ケーン ドドドドドドドドド・・・」

ケーン ケーンは鳴き声、ドドドは羽ばたきの音でこれがドラミング。

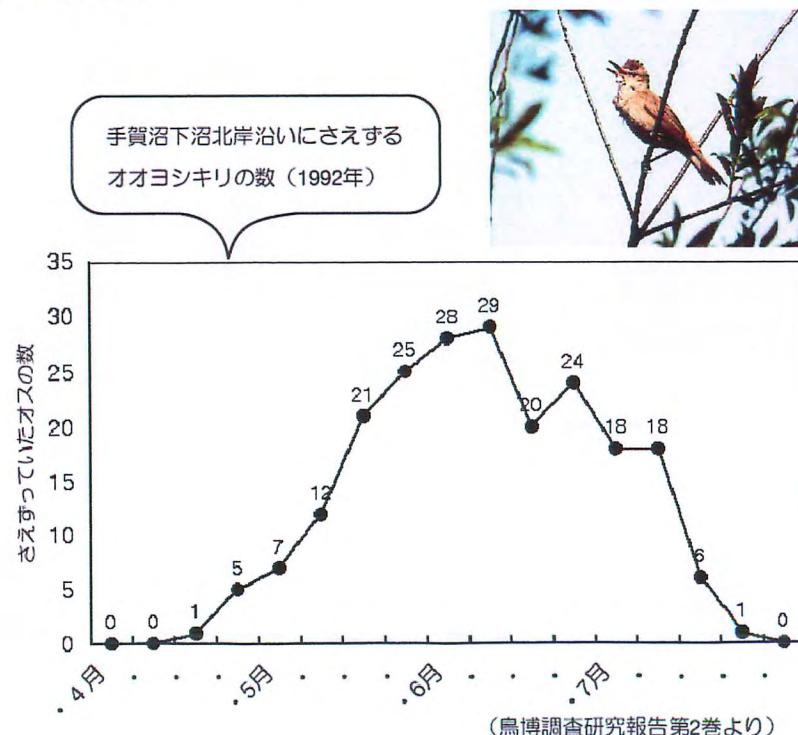


オオヨシキリとヨシ原

春から夏にかけて、手賀沼のヨシ原でもっとも目立つ鳥は？と聞かれたら、「それはオオヨシキリ」とこたえてまちがいはありません。朝から晩まで（本当は夜通し）、「ギョギヨシ ギョギヨシ」とヨシ原で鳴き続ける声は、手賀沼周辺に住んでいる人ならば、皆、知っているはず。

では、いつ頃から鳴き始めていつ頃まで鳴くのか？と聞かれると、こたえがあやしくなってきます。

手賀沼の下沼の北岸沿いにさえするオオヨシキリの数の季節変化のデータを見てみましょう。鳴き声が聞かれるのは、4月半ばから7月半ばまでのようです。



春のアルバム



ホトケノザ



オオイヌノフグリ



コブシ



オオバン



バン



カツブリ



ヨシ



マコモ



ヒメガマ

コースガイドと見どころ

- ①鳥の博物館（10:00）
スズメやキジバトも鳥の博物館を利用？
古巣があるよ！
- ②水の館
田んぼや芝生上を歩く鳥がじっくり見られる！
- ③ミニ手賀沼
アヒルのつがいが常駐！時々カワセミの姿も！水草の中にメダカもすんでいる！
- ④手賀大橋下
冬は餌付けされたカモガヤオオバンがじっくり観察できる。
- ⑤噴水広場
近くのいかだ（植栽実験用）は、水鳥の絶好の休憩所。
- ⑥釣り堀
ヘラブナの釣人を左手に見ながら、ヨシ原の鳥をじっくり観察しよう！
- ⑦芝生広場
広場のまわりの樹上、その背後の田んぼが鳥を見つけるポイント！
- ⑧水生植物園
ハナショウブは6月が旬！まわりの水たまりものぞいて見よう！
- ⑨フジ棚
フジのトンネルを抜けて斜面林の下の道へ出ます。
- ⑩香取神社下（12:00ころ）
右手の斜面林、左手の田んぼを観察しながら、博物館へ戻り解散です。

T : トイレ

